

八丈島 水産だより

7月号

2015



アガパンサス



植樹のようす

梅雨ごろから咲くアガパンサスと夏に咲くハイビスカスが、島内を色鮮やかな花で飾っています。もうすぐ本格的な夏がやってきます。

強い風や潮から田畑や住宅を守る「保安林」をつくるため、地元小学4年生によるクロマツの植樹が行われました。病気に強い特別なクロマツです。植樹の前に八丈支庁の林務担当による授業で、森の働きや大切さを学んだ子供たちは、大きく育つことを願いながら、1本ずつしっかりと植えていきました。

■ 最近の漁模様



水揚げされたキンメダイ



キンメダイの出荷作業

黒潮が八丈島の近くを流れ、海水温が上がっています。漁港のなかにもたくさんのムロアジが見え、8月からはじまるムロアジ漁が期待されます。

多くの漁師さんたちが、八丈島の南西にある漁場にキンメダイを釣りに行っています。燃料費を節約するために、漁場に1泊する漁船もあります。なかには1回の出漁でキンメダイを1トン以上釣ってくる漁師さんもいます。

■ 食育推進全国大会 in すみだ2015

6月20、21日墨田区において、第10回食育推進全国大会が開催されました。

八丈島漁協女性部は、これまでの活動を紹介するパネル展示と、墨田区立二葉小学校での公開授業に参加しました。公開授業では、小学4年生と保護者、地域や大会の参加者などたくさんの方々に、八丈島の気候や産業などの講義の後、実物のトビウオを使ってからだのしくみを説明したり、ムロアジのさばき方を実演、試食も行い、大好評でした。



錦糸公園ふれあい広場



墨田区総合体育館



パネル展示



公開授業